

数 学 問 題

(この問題は4題からなっている)

受験についての注意

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
- 試験中に問題冊子のページの脱落等に気づいた場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
- 解答用紙の記入には、必ず**HBの黒鉛筆またはシャープペンシル(HB, 0.5 mm芯以上)**を用いること。
- 解答用紙を折り曲げたり、破いたり、汚したりしないこと。
- 合図があったら**解答用紙に受験番号を記入し、マーク欄にマークすること。また、氏名とふりがなを記入すること。**
- 解答用紙の該当する箇所を**マーク例**に従ってぬりつぶしなさい。一度記入したマークを消す場合は、消しゴムできれいに消しなさい。
×をつけても消したことにはならない。
- 解答用紙の指定された場所以外には何も書いてはならない。
- 計算や下書きは、問題冊子の余白を利用しなさい。
- 計算機を使用してはならない。また、**携帯電話やスマートフォンなどの通信機器は必ず電源を切り、鞄の中にしまいなさい。**
- 不正行為には厳正に対処する。不正行為を行った場合は、その時点で受験を停止とする。
- 試験終了後、この問題冊子を持ち帰りなさい。

マーク例	
良	不良
●	○☒○

解答上の注意

解答上の注意を裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して読みなさい。
ただし、指示があるまで問題冊子を開いてはならない。

問題 1

(1) a, b を正の実数とする。「 x, y を実数とするとき, $x^2 + y^2 < a$ ならば $x + y < 5$

である」が真の命題であるような a のとり得る値の範囲は $0 < a \leq \frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ である。

また, 「 x, y を実数とするとき, $x + y < 5$ ならば $x < 2$ または $y < b$ である」が

真の命題であるような b のとり得る値の範囲は $b \geq \boxed{\text{エ}}$ である。

(2) $x_1 = 100$ として, 数列 $\{x_n\}$ を漸化式

$$x_{n+1} = 10^{\frac{1}{1-\log_{10} x_n}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定義する。 k を 2 以上の自然数とするとき, $x_k = x_1$ となる最小の k の値は

$\boxed{\text{オ}}$ である。従って, $x_1, x_2, x_3, \dots, x_{100}$ の中に有理数でない項は全部で $\boxed{\text{カキ}}$

項ある。

(3) x, y が実数全体を動くとき, $(\log_2 81)^{\sin x}, (\log_{27} 4)^{\cos y}$ の最大値をそれぞれ α, β

とおく。このとき $\frac{\alpha}{\beta} = \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{ケ}}}$ である。

問題 2

(1) 座標平面上に, A(1, 0) を中心とする半径 1 の円と, 2 点 B(0, 2), C(-2, 0) がある。

この円周上を動く点 P があり, 動径 AP が x 軸の正の向きとなす角を θ ($0 \leq \theta < 2\pi$)

とする。P の座標は

$$P(\boxed{コ} + \cos \theta, \sin \theta)$$

と書けるから, 内積 $\vec{PB} \cdot \vec{PC}$ を $\sin \theta, \cos \theta$ の式で表すと

$$\boxed{サ} - \boxed{シ} \sin \theta + \boxed{ス} \cos \theta$$

となり, P が円周上を動くときの $\vec{PB} \cdot \vec{PC}$ の最大値は $\boxed{セ} + \boxed{ソ} \sqrt{\boxed{タ}}$ となる。

(2) 座標平面上の点 A(4, 0) および B(0, 2) を通る円 C 上に点 P がある。円 C の中

心は直線 $y = \boxed{*チ} x + \boxed{*ツ}$ 上にあり, $\angle APB = 90^\circ$ なら, C の方程式は
 $(x - \boxed{テ})^2 + (y - \boxed{ト})^2 = \boxed{ナ}$ である。

問題 3

θ を $0 < \theta < \pi$ を満たす定数として、 x の関数 $f(x) = x^3 - 3(\sin \theta)x^2 + \cos 2\theta$ を考える。

以下の各間に答えよ。

(1) $f(x)$ は $x = \boxed{\text{二}}$ で極大値 $\cos 2\theta$ をとり、 $x = \boxed{\text{又}}$ $\sin \theta$ で極小値

$\boxed{*ネ} \sin^3 \theta + \boxed{*ノ} \sin^2 \theta + \boxed{ハ}$ をとる。

(2) (1) の極小値が 0 となるような θ のうちで最大のものは $\theta = \frac{\boxed{\text{ヒ}}}{\boxed{\text{フ}}} \pi$ である。

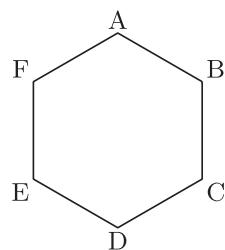
(3) x の方程式 $f(x) = 0$ が異なる 3 つの実数解をもつための θ のとり得る値の範囲は

$\frac{\boxed{\text{ヘ}}}{\boxed{\text{ホ}}} \pi < \theta < \frac{\boxed{\text{マ}}}{\boxed{\text{ミ}}} \pi$ および $\frac{\boxed{\text{ム}}}{\boxed{\text{メ}}} \pi < \theta < \frac{\boxed{\text{モ}}}{\boxed{\text{ヤ}}} \pi$ である。

ただし、 $\frac{\boxed{\text{マ}}}{\boxed{\text{ミ}}} \pi < \frac{\boxed{\text{ム}}}{\boxed{\text{メ}}} \pi$ となるように答えよ。

問題 4

下図のような正六角形 ABCDEF からなる経路において、A から出発して 6 回の移動をする動点 P を考える。ここで 1 回の移動とは、ひとつの頂点から右回りまたは左回りにそれぞれ $\frac{1}{2}$ の確率で 1 辺の長さだけ進むことである。以下の各間に答えよ。



- (1) 最後に P が A に到達する確率は $\frac{\boxed{\text{ヨリ}}}{\boxed{\text{ルレ}}}$ である。
- (2) 最後に P が C に到達する確率は $\frac{\boxed{\text{ヨリ}}}{\boxed{\text{ルレ}}}$ である。
- (3) 右回りの移動と左回りの移動をそれぞれ少なくとも 1 回以上行い、かつ途中で C を通って (C で折り返す場合を含む) 最後に P が A に到達する移動の仕方は $\boxed{\text{ヲ}}$ 通りある。
- (4) 最後に P が A に到達するという条件の下で、途中で C を通らない条件付き確率は $\frac{\boxed{\text{ノ}}}{\boxed{\text{アリ}}}$ である。

余 白

余 白

解答上の注意

1. 問題の文中 ***アイウ** などの * にはプラス, マイナスの符号が 1 つ対応し, ア, イ, あ, い, …などの文字にはそれぞれ 0 ~ 9 の数字が 1 つずつ対応する。

例 1 ***アイウ** に 235 と答えるときは, + 235 としてマークしなさい。

ア	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
イ				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
ウ				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

2. 答が 0 のときは, 以下の例に従ってマークしなさい。

問題文に ***工** と **工** の 2 通りの場合がある。

例 2.1 ***工** に 0 と答えるときは, + 0 としてマークしなさい。

工	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

例 2.2 **工** に 0 と答えるときは, 0 のみにマークしなさい。

工		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	--	--------------------------	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3. 分数形で解答するときは, 既約分数(それ以上約分ができない分数)で答えなさい。整数を答えるときは, 分母に 1 をマークしなさい。

例 3 ***才**
力 に -5 と答えるときは, $\frac{-5}{1}$ であるから, 以下のようにマークしなさい。

才	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
力				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

4. 根号を含む形で解答するときは, 根号の中の自然数が最小となる形で答えなさい。たとえば, **キ** $\sqrt{\square}$, $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$ に $4\sqrt{2}$, $\frac{\sqrt{2}}{2}$ と答えるところを, $2\sqrt{8}$, $\frac{\sqrt{8}}{4}$ のように答えてはならない。